

科目名		授業形態	担当教員名	
言語発達障害Ⅲ (発達段階の評価と指導：前言語期、単語獲得期)		講義	石井 喜代香	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
15 時間 (1 単位)		8 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
ことばの障害は、両者のコミュニケーションが関与することから、子どもと大人の両者をみていく必要がある。そこで、語用論的立場をとるインリアルを紹介し、大人のかかわりの重要性と基本姿勢について講義する。次に、前言語期から単語獲得期頃の発達段階にある対象児について、障害特性も交え評価と具体的指導方法について講義する。まとめでは可能な範囲で構文期の言語発達の様相を復習する。				
授業の到達目標				
語用論の考え方を理解し、インリアルの特徴を捉え、大人と子どもの相互の関係でコミュニケーションがダイナミックなものであることを理解する。特に、大人のかかわりの重要性と具体的方法を学ぶ。次に、言語発達学で学んだことを基に、前言語期～単語獲得期の特徴を捉え、その段階の評価観点と指導方法を理解し概観を説明できるようにする。				
授業計画				
回	内容			
1	インリアルによるコミュニケーションアプローチ 概論			
2	インリアルによるコミュニケーションアプローチ 分析方法			
3	インリアルのおまとめ 重度重複障害の特性			
4	(1) 前言語期の評価と指導 ①聞き手効果段階 前期の評価と指導			
5	②聞き手効果段階 後期の評価と指導			
6	(2) 単語獲得期の評価と指導 ①単語獲得期の評価			
7	②言語獲得期の支援			
8	単語獲得期までのまとめ 構文の発達の復習			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	100%			
レポート				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名	出版社名		
言語聴覚療法シリーズ 言語発達障害Ⅰ	大貝茂 編著	建帛社		
言語発達障害学 第2版	玉井ふみ 編	医学書院		
ことばの障害の評価と指導	大石敬子	大修館書店		
言語聴覚士のための言語発達障害学 第2版	石田宏代 編	医歯薬出版		
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名	出版社名		
自由記載				
備考				